

G-CHAIN

リエゾンファンクション
もの、アイデア、情報、人の流通のかなめ
研究をマネジメント

アドバイザリーボード
有識者による客観的評価・提言



分子を対象に
つくる領域 (中心領域)

生命現象の鍵を握る「糖鎖」を基軸に、「核酸」「蛋白質」を分子レベルで理論創薬等も活用して「生体材料」を“つくる”。

双方向型協働

細胞・組織を対象に
ひも解く領域

「神経」や「薬理」など生命現象の相互作用を細胞や組織を対象に「分子イメージング」「プロファイリング」を通して“ひも解く”。

疾患を対象に
活かす領域

「人獣共通感染症」や「腫瘍・難治性疾患」など疾患を対象に、「比較腫瘍」「再生医療」につなげることで「創薬」に“活かす”。

**分子の役割を
ひも解き
医療へ活かす**

◆新組織での人材交流により、リスクマネジメントの強化が可能 ◆アドバイザリーボードを通じた新規制度設計が可能